

学校関係者評価報告書

【評価対象期間】 自：2018年4月1日
至：2019年3月31日
【評価基準日】 2019年4月1日

学校法人 麻生塾
専修学校麻生ビューティーカレッジ

目 次

I. 学校関係者評価の概要と実施状況	- 3 -
1. 学校関係者評価の目的と基本方針	- 3 -
2. 学校関係者評価委員名簿.....	- 3 -
3. 学校関係者評価委員会の実施状況	- 3 -
4. 学校関係者評価委員会の実施方法	- 3 -
5. 学校関係者評価（自己評価結果）の評価の仕方	- 3 -
II. 学校関係者評価委員会報告.....	- 4 -
1. 重点項目について	- 4 -
2. 基準項目について	- 4 -

I. 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の目的と基本方針

1) 目的

①卒業生、関係業界、職能団体・専門分野の関係団体、高等学校、保護者・地域住民などの学校関係者が、麻生ビューティーカレッジの自己点検・評価結果を評価することで、自己評価結果の客観性・透明性を高める。

②学校関係者から、学校運営・教育活動の現状における課題について助言を得ることで、学校運営の継続的な改善を図る。

2) 基本方針

学校関係者評価は、自己点検・評価報告書を基に「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施することを基本方針とする。

2. 学校関係者評価委員出席者名簿

区分	氏名	所属(役職)
業界関係者	高口 司 様	株式会社ダリア (営業推進本部 次長)
高 校	永末 里志 様	博多女子高等学校 (理事長・学校長)
地域住民	亀岡 正成 様	舞鶴校区町内会連合会 (副会長)
卒 業 生	原田 七海 様	株式会社 田谷 (スタイリスト)
卒 業 生	奥野 祐希 様	プランツヘアー博多 (オーナー)
保 護 者	平田 稔典 様	美容科2年 保護者

※区分別、五十音順、敬称略

3. 学校関係者評価委員会の実施状況

実施日時：2019年6月5日(水) 14:00 ~ 16:00

場 所：麻生ビューティーカレッジ 4階 401教室

4. 学校関係者評価委員会の実施方法

学校関係者委員の皆さまに、2018年度の実績に対する自己点検評価の結果を学校から報告し、評価結果に対する意見をいただく。

5. 学校関係者評価(自己評価結果)の評価の仕方

2018年度の自己点検・評価報告書に基づき、基準項目の自己評価結果および課題・解決方向について、下記のポイントに留意しながら評価を行った。

- (1) 自己評価結果の内容が適切かどうか
- (2) 今後の解決方向が適切かどうか
- (3) 学校の運営改善に向けた取り組みが適切かどうか
- (4) その他、学校の運営に関する助言

II. 学校関係者評価委員会報告

1. 重点項目について

学校の取り組み状況

学校の教育理念、教育目標（育成人材像）の見直しと周知については、これまでの麻生塾の教育理念をふまえ、各グループ校の教育理念、教育目標の明確化に教職員全員で取り組み、その結果、教職員全員の学校運営への参画意識がさらに高まった。また、教育活動の見直しについては、効果的な授業運営の実施に向けた改革、および多様な学生が増えている状況に対応が可能となる単位制を導入。教員の質向上については、成果となるコンテスト入賞を継続するための指導体制について検討を重ねた。

今後の取り組みとしては、本日の学校関係者評価委員会での共有の機会のように、教育理念・教育目標をさらに学外へ周知していくこと、また、より良い授業運営ができるよう教員それぞれの指導力向上となる取り組みの継続、認定資格の取得者を計画的に増やしていく。

評価委員からの意見

特記事項なし。

2. 基準項目について

基準 1 教育理念、目的、人材育成像

学校関係者評価結果： 適

学校の取り組み状況・課題

教育理念に基づき、人間性・人格の成長を図る手法として、麻生専門学校グループ全体で GCB（グローバルシチズンベーシック）教育プログラムに取り組んでいる。本校でも、この内容を授業だけでなく、平日頃から学生に常に伝えて何をすべきかを考えさせており、学生の発言・行動からも GCB の意識が感じられる。

今後もこの教育を推進、深化させていくことが課題であり、教育理念に基づいた教育実践として重要な取り組みと考えている。

評価委員からの意見

- ・人としての考え方、対応力の向上は、美容学校としての重点項目の一つと考えている。現在の対応状況が自己点検・評価報告書に記載されており、今後の課題、対策を実行されていかれることを期待している。

基準 2 学校運営

学校関係者評価結果： 適

学校の取り組み状況・課題

学校として取り組むべき施策や解決すべき課題を具体的な施策として「事業計画」にまとめ、学内で方針発表を実施。全員で次年度目標を共有のうえ、学校運営をスタートさせている。また、業務の進捗確認は、学科会議、教職員会議等で実施し、課題を解決している。

今後の課題として、事務局の運営体制については法人全体での学校事務の効率化、基幹システムの改修等により改善を継続していく。

評価委員からの意見

特記事項なし

基準 3 教育活動

学校関係者評価結果： 適

学校の取り組み状況・課題

新たな教育理念のもと、これまでの教育目標（人材育成像）の見直しに合わせて3ポリシー（ティップ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）も明確に設定した。カリキュラムについては、美容師国家試験合格率100%を目標とし、さらに、企業連携による実践的な授業、現場での実習にも取り組み、成績評価・単位認定・卒業判定も規定に基づいて適切に実施している。

今後は、授業アンケート、授業見学を活用した改善活動において、各課目の授業内容・授業方法の改善まで至るよう取り組んでいく必要がある。

評価委員からの意見

- ・コンテスト入賞を継続的な目標としていくうえで、どのようなトレーニング計画を考えられているのか、また、クリエイションに関して、コンテストでの受賞経験が多い地元美容師を招いた授業やトレーニングを実施してはどうか。
⇒ 今年度は、クリエイティブチーム、国家試験チームという教員全員が2チーム体制に分かれて指導する体制で運営している。また、各コンテストに向けては3か月前から準備している。
卒業生のコンテスト入賞者のセミナー、外部講師等も招いての授業も実施しているので、ぜひ、受賞経験がおありで講師をお引き受けいただける方のご紹介をお願いしたい。
- ・コンテストに参加する目的は何か。
⇒ 本校のレベルを知る機会だと考えているが、コンテストに取り組む過程も重要であると認識している。
- ・外部講師との授業内容の共有に交換ノートを実施している学校がある。取り入れてはどうか。
⇒ 非常勤講師には授業報告書の作成を依頼しているが、単発での講座の場合は講師の方の負担を考えて依頼していなかったが、ご提案を受け、今年度より報告書の作成を依頼したい。
- ・採用面接等で、学校によって挨拶など礼儀面での差がある。敬語や挨拶の課目が必要ではないか。
⇒ 学内でも対人スキルの向上は必要との認識をもっており、今年度から「接遇」の課目を取り入れた。敬語なども学び、ビューティーコーディネイター検定の取得を目指す。

基準 4 学修成果

学校関係者評価結果： 適

学校の取り組み状況・課題

学修成果として、就職はほぼ全員が美容業界へ就職できている。また、美容師国家試験、各種検定においても全国平均を上回る合格率をあげており、不合格者へのフォロー体制も整えている。

今後の課題としては、離職率が高い美容業界へ就職していく学生に対する在学中のキャリア指導の強化、および退学の要因分析などがあげられる。特に退学については、年度初めの時期に注力し、教職員全員が適切な支援・指導ができるよう組織全体で取り組んでいく。

評価委員からの意見

- ・ 社会に出てからの美容師としての継続的な活躍が重要
⇒ 美容師としての継続的な活躍は我々も願っている。就職担当者が中心となって卒業生訪問を行うなど卒業後も学校と卒業生が繋がっており、状況把握に努めている。
- ・ 学生の成果発表や広報活動としての SNS の活用状況はどうか。
⇒ LINE、インスタグラム、ツイッターを活用している。
- ・ 美容師免許取得率は美容学校としての項目と考える。2年間で学校を卒業し、国家資格取得が理想であるが、合格率100%は難しいのではないか。しかし、保護者として学費を支払って資格が取得できないという状況は納得しがたい部分である。
⇒ 本校の授業時間は2100時間で、その中に必修科目と各校に委ねられている科目があり、専門士に必要な授業時間数(1700時間以上)と比べると1.1倍ほど多い。本校も最善を尽くし、100%合格を目指して運営している。

基準 5 学生支援

学校関係者評価結果： 適

学校の取り組み状況・課題

学校生生活のサポート体制は、教職員間はもちろん、保護者への報告、連絡、相談などの連携体制がとれている。健康管理、メンタル面のサポート体制も整備されている。経済的な支援についても独自の支援体制を整備し、支援の充実をはかっている。

今後の課題としては、現在のキャンパスでは対応できていなかったスポーツなどの課外活動の支援、学園祭などの文化的活動の支援を2020年のキャンパス移転時以降はグループ校とともに参加できる体制をと整えさらなる支援体制の充実を目指していく。

評価委員からの意見

- ・ 特記事項なし

基準 6 教育環境

学校関係者評価結果： 適

学校の取り組み状況・課題

必要な施設・設備についてはすべて整備し、定期点検も実施している。校舎、設備の老朽化により、修繕が発生することもあるが、都度、適切に対応している。今後は、新たなキャンパスにおける教育環境についてもスムーズな運営が開始できるように体制を整えていく。

評価委員からの意見

- ・ 移転後の施設(スタジオ)利用にもご協力したい。

基準 7 学生募集

学校関係者評価結果： 適

学校の取り組み状況・課題

学生募集および入学者選抜については、公正かつ適切に実施できている。オープンキャンパスや学校説明会においても教育成果等も詳細な数値での説明を実施している。

引き続き、組織全体で本校の魅力と実績を伝え続け、募集対象者の学校理解を促進していく。

評価委員からの意見

・福岡県下の美容学生増減について正確な情報をもっているのか。

⇒ 18歳人口は減っているが、総合専門学校という強みを生かして募集活動を行っていく。

・美容一本に絞っていくのはなぜか。

⇒ 美容業界で働き続けるためには、国家資格を取得してトータルで学んでいくことが必要。メイク、ネイル等は専門ではなく選択という形で学び、就職の幅を広げ、活躍の場をつくるため。

基準 8 財務

学校関係者評価結果： 適

学校の取り組み状況・課題

教育活動を安定的かつ継続的に進めるための財務基盤および適正な財務管理もできている。予算編成、計画立案に関するヒアリングを実施し、計画をたてて運用し、財務情報はホームページにて公開している。

評価委員からの意見

・財務の評価は難しい。⇒ 次年度からエビデンスとなる資料を準備する。

・仮に資料を見ても、その内容が適正かどうかを評価するのは難しいのではないか。

基準 9 法令遵守

学校関係者評価結果： 適

学校の取り組み状況・課題

学校教育王、専修学校設置基準など関係法令や学内規程を遵守し、適正な学校運営を行っている。法令順守に関する啓蒙、研修は毎年実施されているが、養成施設校の運営に関する美容師法令に関しては、すべての教職員が理解するには至っていない。

今後の課題として、学校運営におけるコンプライアンス、学生指導でのハラスメント防止なども含め、リスクマネジメント委員会と連携し、勉強会などを実施していく。

評価委員からの意見

・特記事項なし

基準10 内部質保証

学校関係者評価結果： 適

学校の取り組み状況・課題

「自己点検評価委員会」を設置し、教育活動、学校運営における自己点検・評価を実施し、課題について教職員全体で共有し、改善に取り組んでいる。また、その状況については、「学校関係者評価委員会」での報告やWeb上での公開など社会に対する説明意識も向上している。

今後も組織全体でPDCAを回しながら改善活動を継続していく。

評価委員の意見

- ・特記事項無し

基準11 社会貢献・地域貢献

学校関係者評価結果： 適

学校の取り組み状況・課題

社会貢献・地域貢献においては、学生のボランティア活動が中心となっている。毎年、高齢者施設訪問等を実施しており、多様性の理解、様々な方とのコミュニケーションを図ることができ、地域との繋がりを体感できる貴重な機会と捉えている。

今後は、学生の自発的な参加の推進が必要である。

評価委員の意見

- ・地域住民参加の公開講座において、美容施術に関する開講は難しいということを理解した。
- ・毎日の朝清掃は、地域にとってありがたい取り組みである。若者はエネルギーをもっている。学校でも若者の声を聴いて若い人が燃えるような学校を作ってほしい。期待している。

基準12 国際交流

学校関係者評価結果： 適

学校の取り組み状況・課題

美容業界も海外からのお客様を迎える時代となりつつあり、語学を学ぶ機会が必要となってきた。支援体制として長期・短期の留学制度を整備し、学ぶ機会の広がりをサポートしている。また、留学生も少数ではあるが在籍しており、国際交流センターと連携して日本での生活をサポートしている。

評価委員の意見

- ・特記事項なし

以上